

令和5年度 福生市公立学校評価書総括表

学校自己評価総括	改善策	学校関係者評価総括	改善策	総括評価			
(1) 「よく考える子」(問題解決力)の育成	①確かな学力の定着 ②学びのプロセスの重視 ③読書教育の推進	大変よい 概ねよい もう少し 努力を要す	①主体的な授業の創造、学習用iPadの積極活用 ②地域学習の工夫した展開 ③目標設定の改善や児童主体の取組	○地域人材・教材を活用した教育活動がコロナ以前のようには復活し、より活性化してきた。児童の主体的な学びを大切にしている意識が徐々に高まってきている。また、学習用iPadを積極活用する学びの姿が定着してきた。 ○思いやりのある子では、3・4年度の人権尊重教育推進校の実績をベースに挨拶の励行や気持ちの良い言葉遣いなど、児童会等を中心に主体的な取組が安定してきた。中学校との挨拶運動の交流が行われ安定的と思いきや、心の醸成が着実に図られている。安定した取組となるよう継続的に取り組むことが重要である。 ○体力向上の取組は、昨年度の体力テストの結果より向上しており、体力の回復傾向がみられる。校外での遊び・運動が盛んになり、日常の運動量が確保出来る児童が増えたが、全体としては、まだ不十分である。引き続き、運動に取り組む機会を増やし、体力調査等での課題を克服できるよう計画的に推進していくことが重要である。			
		(2) 「思いやりのある子」(人間関係形成力)の育成			①相手意識の向上・豊かな人間関係 ②生活習慣の確立 ③自己肯定感の伸長 ④安心・安全の保障	大変よい 概ねよい もう少し 努力を要す	①学校全体の取組、人権意識の向上 ②「二小の規律」の全学年実施 ③研究の重点化 ④関係機関との連携
						(3) 「体を大切にす子」(心身健康力)の育成	
(4) 学校組織運営力を高め、チーム力を発揮し、活発な教育活動を展開	①チーム力、連携・協働 ②校内研究 OJT		大変よい 概ねよい もう少し 努力を要す	①CS活動の充実・発展 CSとして目指す方向性の啓蒙 ②「二小くまっ子応援団」との連携			
		(5) 保護者・地域活動との協働的な教育活動	①教育活動情報発信 ②CSおよび学校支援地域組織「二小くまっ子応援団」との連携		大変よい 概ねよい もう少し 努力を要す		①特別支援学級・特別支援教室「かわせみ教室」のOJT・関係機関との連携充実 ②インクルーシブ教育システムの推進
					(6) 専門性の向上、働き方改革の推進による教職員の心身の健康管理と働く意欲の向上	①新学習指導要領 ②インクルーシブ教育 ③働き方改革の推進	

福生第二小学校